

“LAH.C620: グローカル・ドクター日本 Y2” のシラバス

講義の概要とねらい

本科目のねらいは、履修者が先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、異分野の研究者と協力して、修士課程、博士後期課程、他大学大学院学生等の「知の交流」を促進する場を創造するところにある。

本科目が養う履修者の力は、

- (1) 社会的課題に専門性をもって取り組む力
- (2) 多様なバックグラウンドを持つメンバーと共同研究をする力
- (3) 研究者倫理・行動規範を理解し実践する力
- (4) 知的交流の場を創造する力

である。そして、博士後期課程の学生を中心とした本学の人的ネットワークの創出と拡充を期待している。

到達目標

本科目の履修を通じて、学生は以下の能力を身に付ける。

- 1) 学際的・先端的なテーマの研究を行う。
- 2) 異なる学問分野、留学生とのグループワークにおいて英語等のコミュニケーションを行う。
- 3) 学会のポスターセッション・スタイルで、グループワークの成果を発表する。
- 4) 研究者としてのリーダーシップ・学際性・コミュニケーション力。
- 5) 社会的課題に専門性をもって取り組む。
- 6) 多様なバックグラウンドを持つメンバーと共同研究をする。
- 7) 研究者倫理・行動規範を理解し実践する。
- 8) 知的交流の場を創造する。
- 9) 博士後期課程の学生を中心とした本学の人的ネットワークの創出と拡充に貢献する。

キーワード

グループワーク、リーダーシップ、協働、研究者倫理、社会的課題

学生が身につける力(ディグリー・ポリシー)

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| ✓ 専門力 | ✓ 教養力 | ✓ コミュニケーション力 |
| ✓ 展開力(探究力又は設定力) | ✓ 展開力(実践力又は解決力) | |

授業の進め方

履修者数は「LAH.A542: グローカル日本 Y2」と合わせて最大 40 名。履修制限をする場合がある（履修条件およびその他を参照）。

2023 年 2 月 20 日（月）から 2023 年 2 月 28 日（火）までの間の 4 日間に 7 回のセッションを行う（授業計画を参照）。

テーマ：ひとのためのデザイン：水の保全と利活用

会場

大岡山キャンパス西 9 号館 7 階 714 号室

※体調不良等への対応のために Zoom も用意しますが、受講生のみなさんが講義室にいらっしゃることを想定して授業を進めます。

授業計画・課題

授業計画	課題
第1日：2023年2月20日（月） ・セッション1：08:50-10:30 ・セッション2：10:45-12:25	第1日 “知的財産保護についてのポリシー”の提出 “TAPPのアイデアの提出 “チームのメンバーと連絡手段”の提出 “TAPPのプレゼンテーションの概要”の提出
第2日：2023年2月22日（水） ・セッション3：08:50-10:30 ・セッション4：10:45-12:25	第2日 “チームの3つの行動規範”の提出 “TPPTのアイデア”の提出 “チームによるTPPTの取組課題”の提出 “チームによるTPPTの作成のための役割とスケジュール”の提出 “TPPTのチームと個人の成果”の提出
第3日：2023年2月24日（金） ・セッション5：08:50-10:30 ・セッション6：10:45-12:25	第3日 “ポスターとプレゼンテーションのコツ”の提出 “チームによるTPPTのチーム発表の概要”の提出 “チームによるTPPTのポスター”の提出
第4日：2023年2月28日（火） ・セッション7：10:45-12:25	第4日 “レビューシート”の提出 “コメントシート”の提出 “コメントに対するチームからの応答”の提出 “改訂版の概要と改訂版のポスターの提出”の提出

教科書

なし

参考書、講義資料等

Kosoen（壺草苑）（日本語）

<https://kosoen.com/>

[最終確認日 2022 年 12 月 22 日]

Japanese Indigo Dyeing: “Aizome”

<https://kosoen.com/eng>

[最終確認日 2022 年 12 月 22 日]

Hamura Intake Weir（羽村取水堰）（ウィキペディア日本語版）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/羽村取水堰>

[最終確認日 2022 年 12 月 22 日]

Tamagawa Aueduct（ウィキペディア英語版）

https://en.wikipedia.org/wiki/Tamagawa_Aqueduct

[最終確認日 2022 年 12 月 22 日]

玉川上水（ウィキペディア日本語版）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/玉川上水>

[最終確認日 2022 年 12 月 22 日]

“Basic concept of groundwater use in cities - Good relationships with groundwater”（日本語）

『都市における地下水利用の基本的考え方〔地下水と上手につき合うために〕』（日本語）（西垣誠監修、共生型地下水技術活用研究会編、（社）全国地質調査業協会連合会共生型地下水技術活用研究会発行、2007）

<https://www.zenchiren.or.jp/market/pdf/c080226.pdf>
[最終確認日 2022 年 12 月 22 日]

"Delicious water with 100% groundwater" (日本語), Akishima City, Latest Revision November 13, 2019
『地下水 100%のおいしい水』、昭島市、2019.11.13 更新
<https://www.city.akishima.lg.jp/s108/010/050/20140904152016.html>
[最終確認日 2022 年 12 月 22 日]

"Marine Plastic Litter," Ministry of Foreign Affairs of Japan
https://www.mofa.go.jp/ic/ge/page25e_000309.html
[最終確認日 2022 年 12 月 22 日]

"Drought around the world, August 2022, in dramatic images"
<https://earthsky.org/earth/drought-around-world-2022-revealing-hidden-artifacts/>
[最終確認日 2022 年 12 月 22 日]

成績評価の基準及び方法

成績評価は可否で判定します。

合格には、すべてのセッションへの参加、グループワークへの積極的貢献、および、すべての提出物の提出が原則必要です。

関連する科目

LAH.A541 : グローカル日本 Y1

LAH.A542 : グローカル日本 Y2

LAH.C619 : グローカル・ドクター日本 Y1

履修の条件(知識・技能・履修済科目等)

別途応募様式を提出（書類選考あり）。

すべてのセッションに参加すること。

連絡先（メール、電話番号） ※"[at]"を"@"(半角)に変換してください。
spring2023[at]ggs.shs.ens.titech.ac.jp

オフィスアワー

メールでアポイントメントを取ること。

（参考）グローバルスクール専用ウェブサイト：
<http://www.ggs.shs.ens.titech.ac.jp/>